

都市再生整備計画 事後評価方法書

ニセコ市街地区

平成 27 年 7 月

北海道ニセコ町

目 次

(1) 成果の評価.....	2
1) 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況.....	2
2) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測.....	5
(2) 実施過程の評価.....	6
1) モニタリングの実施状況の確認.....	6
2) 住民参加プロセスの実施状況の確認.....	6
3) 持続的なまちづくり体制の構築状況の確認.....	6
(3) 効果発現要因の整理.....	7
(4) 今後のまちづくり方策の作成.....	7
(5) 事後評価原案等の公表.....	7
(6) 評価委員会の審議.....	7
(7) その他の機会における有識者からの意見聴取の予定.....	7
(8) 事後評価に必要な経費に関わる予算措置の状況.....	7

※ 記入にあたっての留意事項

方法書提出様式の記入にあたっては、下記の点に留意してください。

1. 事後評価ならびにフォローアップの作業が円滑かつ確実に進められるよう、事後評価に関わる各評価項目の計測又は確認の時期、主体、手法等を具体的に記載してください。
2. 記入項目の詳細や記入例については「方法書作成の手引き」を参照してください。
3. 数値及び文章は、適宜、欄（枠）を拡張するなどして記入してください。

(1) 成果の評価**1) 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況****指標 1 : コンベンション（町民）センター施設の年間利用者数****A : 事前評価時の『従前値』の求め方**

①従前値の基準時点	都市再生整備計画作成時（平成23年3月31日時点）
②実施主体	町民生活課
③計測手法	利用者数の集計による（町民センターの利用者が事前に提出した利用申込書にある人数を集計する）

B : 事後評価時のデータの計測方法と『評価値』の求め方

④計測時期	平成27年10月末時点				
⑤実施主体	町民生活課				
⑥データの計測手法	利用者数の集計による（町民センターの利用者が事前に提出した利用申込書にある人数を集計する。11月から3月までの利用者については、前年度の4月から10月までの利用者数と今年度の同時期の利用者数との増減率を、前年度の11月から3月までの利用者数に掛けて推計する）				
⑦評価値の求め方	町民センターの年間利用者数の集計値を評価値とする				
⑧確定／見込みの別	<table border="1"><tr><td><input type="checkbox"/></td><td>確定</td></tr><tr><td><input type="radio"/></td><td>見込み</td></tr></table>	<input type="checkbox"/>	確定	<input type="radio"/>	見込み
<input type="checkbox"/>	確定				
<input type="radio"/>	見込み				

C : フォローアップ時の『確定値』の求め方

⑨フォローアップの必要性	<table border="1"><tr><td><input type="radio"/></td><td>あり</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/></td><td>なし</td></tr></table>	<input type="radio"/>	あり	<input type="checkbox"/>	なし
<input type="radio"/>	あり				
<input type="checkbox"/>	なし				
⑩計測時期	平成28年4月				
⑪実施主体	建設課				
⑫計測手法	利用者数の集計による（町民センターの利用者が事前に提出した利用申込書にある人数を集計する）				

指標 2 :	情報通信ツール・基盤整備の従前・従後における地域の情報通信環境に対する満足度等	
A : 事前評価時の『従前値』の求め方		
①従前値の基準時点	都市再生整備計画作成時（平成23年3月31日時点）	
②実施主体	企画課	
③計測手法	アンケート調査による（町内の全世帯である約2000世帯へ郵送により調査表を送付し、郵送で回答をいただき、集計する）	
B : 事後評価時のデータの計測方法と『評価値』の求め方		
④計測時期	平成27年9月	
⑤実施主体	企画環境課	
⑥データの計測手法	アンケート調査による（町内の全世帯である約2000世帯へ郵送により調査表を送付し、郵送で回答をいただき、集計する）	
⑦評価値の求め方	「情報共有の仕組み」「行政情報の質の向上」「通信環境の整備」にかかる満足度の平均値を評価値とする	
⑧確定／見込みの別	<input type="radio"/>	確定
	<input type="radio"/>	見込み
C : フォローアップ時の『確定値』の求め方		
⑨フォローアップの必要性	<input type="radio"/>	あり
	<input type="radio"/>	なし
⑩計測時期		
⑪実施主体		
⑫計測手法		

指標 3 :	街路灯のLED化の従前・従後における昼夜間を通した安全・安心に対する満足度等	
A : 事前評価時の『従前値』の求め方		
①従前値の基準時点	都市再生整備計画作成時（平成23年3月31日時点）	
②実施主体	企画課	
③計測手法	アンケート調査による（町内の全世帯である約2000世帯へ郵送により調査表を送付し、郵送で回答をいただき、集計する）	
B : 事後評価時のデータの計測方法と『評価値』の求め方		
④計測時期	平成27年9月	
⑤実施主体	企画環境課	
⑥データの計測手法	アンケート調査による（町内の全世帯である約2000世帯へ郵送により調査表を送付し、郵送で回答をいただき、集計する）	
⑦評価値の求め方	「歩道などの安全性」にかかる満足度の平均値を評価値とする	
⑧確定／見込みの別	<input type="checkbox"/>	確定
	<input type="checkbox"/>	見込み
C : フォローアップ時の『確定値』の求め方		
⑨フォローアップの必要性	<input type="checkbox"/>	あり
	<input type="checkbox"/>	なし
⑩計測時期	平成28年4月	
⑪実施主体	建設課	
⑫計測手法	アンケート調査による	

(1) 成果の評価

2) その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現の計測

数値指標：					
記述理由					
A：事前評価時の『従前値』の求め方					
①従前値の 基準時点					
②実施主体					
③計測手法					
B：事後評価時のデータの計測方法と『評価値』の求め方					
④計測時期					
⑤実施主体					
⑥データの 計測手法					
⑦評価値の 求め方					
⑧確定／見 込みの別	<table border="1"><tr><td></td><td>確 定</td></tr><tr><td></td><td>見込み</td></tr></table>		確 定		見込み
	確 定				
	見込み				
C：フォローアップ時の『確定値』の求め方					
⑨フォローアップ の必要性	<table border="1"><tr><td></td><td>あ り</td></tr><tr><td></td><td>な し</td></tr></table>		あ り		な し
	あ り				
	な し				
⑩計測時期					
⑪実施主体					
⑫計測手法					

(2) 実施過程の評価

1) モニタリングの実施状況の確認

A: 都市再生整備計画への記載状況および実施状況

- ア 都市再生整備計画に実施することを記載した
イ 都市再生整備計画に記載しなかった
ウ 都市再生整備計画に記載はないが実施した

B: 実施事項 (※Aで、アまたはウに該当する場合に記入、イの場合には「なし」と記入)

なし

C: 事後評価時の確認方法

①時 期

②確認先

③確認方法

2) 住民参加プロセスの実施状況の確認

A: 都市再生整備計画への記載状況および実施状況

- ア 都市再生整備計画に実施することを記載した
イ 都市再生整備計画に記載しなかった
ウ 都市再生整備計画に記載はないが実施した

B: 実施事項 (※Aで、アまたはウに該当する場合に記入、イの場合には「なし」と記入)

- ①町民センターの改修事業に先立ち、利用者として予想される「ニセコ町文化協会」に加盟する各団体等と意見交換を行うため、「町民センター改修基本設計意見交換会」を開催し、改修のあり方や改修規模及び施設改修の詳細等について、町民意見の反映を行った。
- ②中央倉庫群の再活用事業に伴い、関係団体・町民等で構成される「ニセコ町中央倉庫群再活用基本設計検討委員会」を設立し、再活用に向けた計画の策定や施策・事業の検討に取り組んだ。

C: 事後評価時の確認方法

①対 象

- ①ニセコ町文化協会
②ニセコ町中央倉庫群再活用基本計画検討委員会

②時 期

交付終了年度 (平成27年7月時点)

③確認先

- ①町民生活課 (町民センター主管課)
②建設課 (中央倉庫群主管課)

④確認方法

- ①「公共施設 (ニセコ町民センター・公民館) 改修調査設計委託業務基本設計説明書」により確認する
②「ニセコ町中央倉庫群再活用基本設計」(成果品)により確認する

3) 持続的なまちづくり体制の構築状況の確認

A: 都市再生整備計画への記載状況および実施状況

- ア 都市再生整備計画に実施することを記載した
イ 都市再生整備計画に記載しなかった
ウ 都市再生整備計画に記載はないが実施した

B: 実施事項 (※Aで、アまたはウに該当する場合に記入、イの場合には「なし」と記入)

中央倉庫群の再活用之际し、町民有志による実行委員会を設立し、イベント「ニセコ倉庫邑」を4回にわたり開催した。その後、実行委員会のメンバーを中心として「NPO法人ニセコ倉庫邑」が設立され、中央倉庫群とその周辺を舞台に、継続的

にイベント等を開催することとなった。

C：事後評価時の確認方法

①対象	ニセコ倉庫邑実行委員会、NPO法人ニセコ倉庫邑
②時期	交付終了年度（平成27年7月時点）
③確認先	建設課（中央倉庫群主管課）
④確認方法	イベント「ニセコ倉庫邑」事業報告書、「NPO法人ニセコ倉庫邑」定款及びイベントPRチラシにより確認する

(3) 効果発現要因の整理

①時 期	平成27年10月
②実施主体	建設課（都市再生整備計画主管課）
③検討体制	建設課を中心に、交付金対象事業の担当課で庁内検討会を開催し、検討する。

(4) 今後のまちづくり方策の作成

①時 期	平成27年10月
②実施主体	建設課（都市再生整備計画主管課）
③検討体制	建設課を中心に、交付金対象事業の担当課で庁内検討会を開催し、検討する。

(5) 事後評価原案等の公表

	原案の公表	評価結果(最終)の公表
①時 期	平成27年12月	平成28年3月
②実施主体	建設課（都市再生整備計画主管課）	建設課（都市再生整備計画主管課）
③公表方法	広報で告知したうえで、建設課の窓口での閲覧、ホームページでの掲載により公表する。 公表期間は2週間とする。	広報で告知したうえで、建設課の窓口での閲覧、ホームページでの掲載により公表する。 公表期間は1年間とする。

(6) 評価委員会の審議

①時 期	平成27年12月初旬
②実施主体	建設課（都市再生整備計画主管課）・企画環境課（既存のまちづくり関連委員会主管課）
③設置・運用方法	「北海道ニセコ町社会資本整備総合交付金評価委員会設置要綱」に基づき、審議を行う。

(7) その他の機会における有識者からの意見聴取の予定

①聴取方法	
-------	--

※(3)～(6)の検討以外に市町村で任意に有識者から意見聴取を予定する場合に記入

(8) 事後評価に必要な経費に関わる予算措置の状況

①予算措置の状況	<input type="checkbox"/> ア 費用は発生しない <input checked="" type="checkbox"/> イ 費用は発生するが、予算措置を講じている <input type="checkbox"/> ウ 費用は発生するが、予算措置は講じていない <input type="checkbox"/> エ その他（ ）
----------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

都道府県名	北海道
市町村名	ニセコ町
地区名	ニセコ市街地区
計画期間	平成23年度～平成27年度
作成者	部署 建設課都市計画係
	役職 係長
	氏名 山崎英文
連絡先	T E L 0136-44-2121 内線 173
	F A X 0136-44-3500
	E-mail toshikei@town.niseko.lg.jp